

JIS 7253 : 2012に従って作成

2-(Di methyl ami no)ethyl acrylate

1. 化学品及び会社情報

製品説明 2-(Di methyl ami no)ethyl acrylate

Cat No. : L13506
CAS番号 2439-35-2
分子式 C7 H13 N O2

供給者

Al fa Aesar
Thermo Fisher Scientific Chemicals, Inc.
30 Bond Street
Ward Hill, MA 01835-8099
Tel: 800-343-0660
Fax: 800-322-4757
Email: tech@al fa. com
www. al fa. com

緊急通報専用電話番号 通常勤務時には、健康、安全、環境部門に、通常勤務時間後は、ケムトレック
Carechem 24 +81 345 789 341

推奨用途 実験試薬.

2. 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

急性経口毒性	区分 4 (H302)
急性経皮毒性	区分 1 (H310)
急性吸入毒性 - 蒸気	区分 1 (H330)
皮膚腐食性/刺激性	区分 1 B (H314)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1 (H318)
皮膚感作性	区分 1 (H317)
標的臓器 呼吸器系.	
水生環境有害性(急性)	区分 1 (H400)

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302 - 飲み込むと有害
H310 - 皮膚に接触すると生命に危険
H330 - 吸入すると生命に危険
H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H400 - 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

予防

- P210 - 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
 P262 - 眼、皮膚、衣類につけないこと
 P264 - 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
 P270 - この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと
 P271 - 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること
 P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
 P280 - 保護手袋/ 保護衣/ 保護眼鏡/ 保護面を着用すること。
 P284 - 呼吸用保護具を着用すること

対応

- P303 + P361 + P353 - 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱・TSこと/ 取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 P304 + P340 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
 P310 - 直ちに医師に連絡すること。
 P363 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること
 P330 - 口をすすぐこと
 P331 - 無理に吐かせないこと
 P370 + P378 - 火災の場合：消火するために乾燥した砂、粉末消火剤または耐アルコール泡消火剤を使用すること

保管

- P403 + P233 - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
 P405 - 施錠して保管すること

廃棄

- P501 - 内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	化審法番号	安衛法番号	重量パーセント
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	2439-35-2	(2)-2583	(2)-2583	<=100

4. 応急措置**一般的なアドバイス**

治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

眼接触

少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと。目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに少なくとも15分間水で洗浄すること。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

吸入

呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。被災者がその物質を経口摂取または吸入した場合には口移し法は使わず、一方向弁を備えたポケットマスクまたはその他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。外気に移動してください。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

経口

無理に吐かせないこと。直ちに医師または毒物管理センターに連絡する。

最も重要な兆候及び症状

曝露した部分すべてに火傷を生じる。呼吸困難。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。過剰ばく露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。製品は、腐食性物質です。胃洗浄または嘔吐症への使用は禁忌です。胃や食道の可能な穿孔を調査する必要があります。経口摂取すると、重篤な腫脹、繊細な組織の重大な障害、穿孔の危険を引き起こす。アレルギー反応の症状には、発疹、かゆみ、腫れ、呼吸困難、手足のうずき、めまい、立ち眩み、胸部の痛み、筋肉痛、紅潮があります。

応急処置を行う者本人の保護

医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護および汚染の拡大を防止するために措置を講じること。

医師に対する注意事項

症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、水噴霧。大火災の場合で大量にある場合：区域から避難させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。火災時は水を噴霧して密閉容器を冷却すること。棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、やってはならない。

安全上の理由から使ってはならない消火剤

情報なし

使ってはならない消火剤

情報なし

引火点

62 °C / 143.6 °F

方法 -

情報なし

自然発火温度

情報なし

爆発限界**上限**

データがない

下限

データがない

機械的衝撃に対する感度

情報なし

静電放電に対する感度

情報なし

化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。本製品は眼、皮膚、および粘膜の薬傷を引き起こす。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。可燃性物質。容器は熱すると爆発することがある。

危険有害性燃焼生成物

知見なし

消火を行う者のための保護具および注意事項

他の火災と同様に、プレッシャデマンド型自給式呼吸装置、MSHA/NIOSH(認証品または同等品)および全身保護服を着用すること。熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。

NFPA

健康
4

引火性
2

不安定性
0

物理化学的危険性
-

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項**

十分換気されているか確認すること。保護具を使用する。人員を安全な区域に避難させること。人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。すべての着火源を排除すること。静電気に対する予防措置を講ずる。

環境に対する注意事項

地下水を汚染してはならない。製品が排水路に入らないようにすること。重大な漏出を封じ込めることができない場合は、地方自治体に報告しなければならない。地上水または下水施設に流さないこと。

封じ込めのための方法およびクリーンアップ

不活性吸収剤で吸収すること。適切な密封容器に保管して廃棄すること。すべての着火源を排除すること。

セクション8および13に記載されている保護対策を参照してください。

7. 取扱い及び保管上の注意**取り扱い**

保護具を着用する。眼、皮膚、衣類につけないこと。化学薬品発煙フードをつけた場合のみ取り扱う。蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。摂取しない。裸火、高温面および着火源から遠ざけること。

保管

冷蔵保存すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。熱や発火源から遠ざける。腐食性物質エリア。

特定用途

検査室における使用

8. ばく露防止及び保護措置**管理パラメータ****モニタリング手段**

爆発特性	情報なし	爆発性の空気/蒸気混合物が可能です
酸化特性	情報なし	
分子式	C7 H13 N O2	
分子量	143.19	
屈折率	1.438	

10. 安定性及び反応性

安定性	光に敏感.
危険有害性反応 危険有害性重合作用	通常のプロセスではない. 抑制剤が消耗すると危険有害性の重合反応を引き起こすおそれがある.
避けるべき条件	裸火、高温面および着火源から遠ざけること.
避けるべき物質	強塩基、酸化剤、還元剤.
危険有害な分解生成物	通常の使用条件下ではない.

11. 有害性情報

製品情報

(a) 急性毒性;

成分	LD50 経口	LD50 皮膚	LC50吸入
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	LD50 = 455 mg/kg (Rat)	LD50 = 419 mg/kg (Rat)	LC50 = 0.972 mg/L (Rat) 1 h

(b) 皮膚腐食性/刺激性; 区分 1 B

。

(c) 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 1

;

(d) 呼吸器または皮膚感作性;

呼吸器の
皮膚データがない
区分 1

。

情報なし

(e) 生殖細胞変異原性;

。

データがない

(f) 発がん性;

。

データがない

この製品には発がん性物質は認められていません。

(g) 生殖毒性;

データがない

(h) ST0T-単回暴露;

データがない

(i) ST0T-反復暴露;

データがない

標的臓器

知見なし.

(j) 吸引の危険;

データがない

症状 / 効果、急性効果と遅延効果
共に過剰ばく露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。
製品は、腐食性物質です。胃洗浄または嘔吐症への使用は禁忌です。胃や食道の可能な穿

孔を調査する必要があります。：経口摂取すると、重篤な腫脹、繊細な組織の重大な障害、穿孔の危険を引き起こす：アレルギー反応の症状には、発疹、かゆみ、腫れ、呼吸困難、手足のうずき、めまい、立ち眩み、胸部の痛み、筋肉痛、紅潮があります。

12. 環境影響情報

生態毒性影響 この製品は、環境にとって有害な以下の物質を含んでいる。水生生物に対して非常に有毒である。

成分	淡水魚	微塵子	淡水藻類	マイクロトックス
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	LC50: 10.0 - 22.0 mg/L, 96h static (Leuciscus idus)	EC50: 20 - 28 mg/L, 48h (Daphnia magna) EC50: 595 - 848 mg/L, 48h semi-static (Daphnia magna)	EC50: = 0.23 mg/L, 72h (Desmodesmus subspicatus)	EC50 = 444 mg/L 17 h

残留性および分解性
下水処理場における劣化 情報なし
環境に危険有害であるか、廃水処理プラントで分解できないと知られている物質を含まない。

生態蓄積性 情報なし

土壌中の移動性 情報なし

内分泌かく乱物質情報 この製品は、既知の内分泌かく乱物質または内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない

持続性有機汚染物質 この製品には既知または疑わしい物質は含まれていません
オゾン枯渇の可能性 この製品には既知または疑わしい物質は含まれていません

13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物 廃棄物は有害であると分類されている。廃棄物および危険廃棄物に関する欧州指令に従って処分する。現地の規則に従って廃棄すること。環境中に放出しないこと。

汚染された包装 この容器は危険または特別な廃棄物の収集所に廃棄してください。

その他の情報 廃棄物を下水へ排出してはならない。廃棄物コードは、製品を使用した用途に基づきユーザーが指定しなければならない。排水路に流してはならない。大量であるとpHに影響を与え、水生生物に害を与えます。この物質を環境に持ち込んではいけません。

14. 輸送上の注意

IMDG/IMO

14.1. 国連番号	UN3302
14.2. 国連輸送名	2-DIMETHYLAMINOETHYL ACRYLATE
14.3. 輸送における危険有害性クラス	6.1
14.4. 容器等級	II

道路および鉄道輸送

14.1. 国連番号	UN3302
14.2. 国連輸送名	2-DIMETHYLAMINOETHYL ACRYLATE
14.3. 輸送における危険有害性クラス	6.1
14.4. 容器等級	II

IATA

14.1. 国連番号	UN3302
14.2. 国連輸送名	2-DIMETHYLAMINOETHYL ACRYLATE
14.3. 輸送における危険有害性クラス	6.1
14.4. 容器等級	II

14.5. 環境危険有害性 環境への危険性 製品は、IMDG / IMOによって設定された基準に沿った海洋汚染物質です。

14.6. ユーザーに対する特別な予防措置 特別な予防措置は必要ありません

14.7. MARPOL73 / 78の附属書IIお 該当なし、パッケージ商品

よびIBCコードにおけるバルク輸送v国際バルク化学コードv0

15. 適用法令

国際インベントリー

X = 上場

成分	化審法	TSCA	EINECS	IECSC	KECL	PICCS	AICS	DSL	NDSL
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	X	X	219-460-0	X	X	X	X	-	X

国際規則 - 日本

成分	危険物質	有機溶剤	毒物及び劇物
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	引火性物質 4-4 4-1	-	-

成分	汚染物質放出転送レジスター(PRTR)	火薬類取締法
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	Class 1 substance (Cabinet Order No. 5) Conc. >=1 %	

成分	消防法	労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	グループ 4 (引火性液体) 4-04-01 ハザードドラック III	-

成分	船舶安全法 有害物質 毒物	海洋汚染防止法	大気汚染防止法	水質汚濁防止法
アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル				

16. その他の情報

作成者

健康、安全および環境部

改訂日

02-7-2018

改訂の概要

SDSオーサリングシステムの更新、置換 ChemGes SDS No. 2439-35-2.

訓練に関する助言

化学的事故対応訓練。

凡例

CAS - ケミカルアブストラクトサービス

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州届出化学物質リスト

PICCS - フィリピン化学品 化学物質インベントリー

IECSC - 中国既存化学物質目録

KECL - 韓国既存化学物質目録

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

ENCS - 化審法

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリー

WEL - 作業空間暴露限界値

ACGIH - 米国産業衛生専門家会議

DNEL - 導出無影響レベル

RPE - 呼吸器保護具

LC50 - 致命的な濃度50%

NOEC - 効果濃度は観察されていません

PBT - 持続性、生物濃縮性、有毒性

TWA - 時間加重平均

IARC - 国際がん研究機関

PNEC - 予測無影響濃度

LD50 - 致死量50%

EC50 - 有効濃度50%

POW - 分配係数オクタノール：水

vPvB - 非常に持続的、非常に生体蓄積性の高い

ADR - 道路による危険物の国際運送に関する欧州の協定

IMO/IMDG - 国際海事機関/国際海上危険物コード

OECD - 経済協力開発機構

BCF - 生物濃縮因子 (BCF)

ICAO/IATA - 国際民間航空機関/国際航空運送協会

MARPOL - 船舶からの汚染防止に関する国際条約

ATE - 急性毒性推定

VOC - 揮発性有機化合物

主要参考文献とデータの出典

供給者の安全データシート、ケムアドバイザー社-LOLI、メルク インデックス、化学物質毒性データ総覧 (RTECS)

このSDSは国連GHSセクション1.2(改訂4)に従って、JIS Z 7253 : 2012、セクション5.4およびJIS Z 7252 : 2014に準拠しています。

免責事項

この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります

安全データシートの終わり